

2 × 8th



A Y U M I



2 × 8

2 × 8th



A Y U M I



## 創業



和田忠治社長  
(1987年)

コンサルタント(日本構造技術)の中で  
UC-1シリーズの開発販売を開始しましたが  
役員間で会社に対する意見の食い違いが  
大きくなり、パッケージソフト部門を  
分社独立することになりました。



登 記	1987年 5月
資 本 金	5,000万円
社 員 数	15名
社 名 の 由 来	Civil Engineers Forum→FORUM 8 8=3+5 ; C=3 E=5

UC-1関連の営業譲渡

発足時のユーザー数 499社

製 品 数 31製品

1988年 3月 本社を日本橋本町から新宿区神楽坂へ移転



創業記念パーティ



## Civil Forum 会

2 × 8th



A Y U M I



創業と同時期に同業数社が『土木コンピュータ』をキーワードとして

会を結成し、共同してマーケットの開拓を実行しました。

会が主催する共同の展示会は当初は大きなインパクトを生みましたが、

序々に成果が薄れ、会は解散しましたが、会員同士の親睦もでき

よい思い出のひとつです。

### 会員履歴

**株式会社 フォーラムエイト**

**株式会社 横河技術情報**

**株式会社 総合システム**

**株式会社 橋設計**

**株式会社 共同計画**

株式会社 ティ・ディ・エス

株式会社 長大

オイレス工業 株式会社

パシフィックコンサルタンツ 株式会社

近代構造エンジニアリング 株式会社

(太字は結成から解散までの会員)



1991年展示会(測量システム展)



1993年展示会(広島)



## 宮崎支社の設立と拡張

東京でのリクルート活動に費用がかかりすぎることで、  
地方の時代という掛け声、一人っ子時代と地元へのU-ターン現象などを  
分析し、宮崎に支社設立を決定しました。

最小の費用とリスクとするためほぼ社長の単独行動での設立でした。



1988年 3月 第1期 竣工



1991年 3月 第2期 竣工



1993年 3月 第3期 竣工

何 故 宮 崎 か ?      気候、空港へのアクセス、総理府の各都  
道府県データによる分析

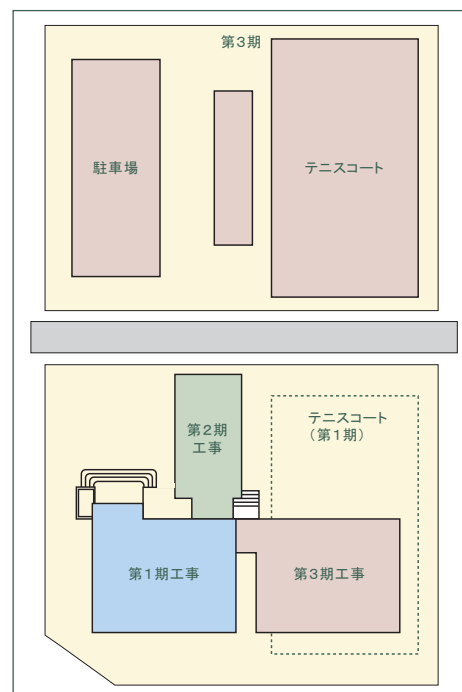
1988年 8月              宮崎県商工労働部へのアプローチ  
土地取得の決定。資金調達

1988年10月12日      宮崎市との立地協定  
社屋のデザインと建設

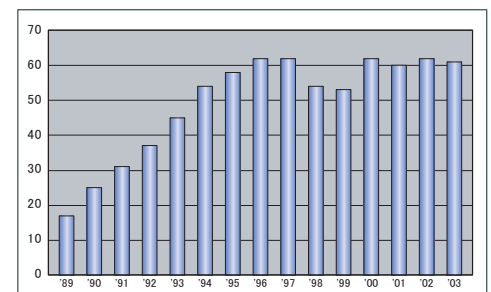
1989年 3月              第1期工事の竣工

1991年 3月              第2期工事の竣工

1995年 3月              第3期工事の竣工



宮崎支社 全体平面図



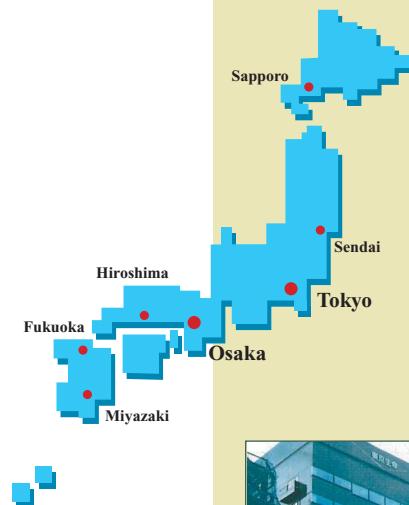
宮崎支社における社員数の推移

## 営業拠点の拡大

東京拠点の営業から全国展開の営業へ。

PCの普及とパッケージソフトの浸透、日本経済の成長により  
順調に業績をのばすことができました。

1989年 9月 1日	大阪営業所開設
1991年 2月 1日	福岡営業所開設
1993年10月 1日	広島営業所開設
1993年10月 1日	仙台営業所開設
1996年 7月 1日	札幌営業所開設
1996年 2月 5日	大阪営業所の支社昇格と移転 大阪支社を営業戦略の中心へと機能拡充



福岡営業所



OAPタワー(大阪支社)



大阪支社ショールーム

2 × 8th



A Y U M I





2 × 8th



A Y U M I



## 創業初期の楽しさ

事業を拡大していく過程は勢いがある楽しいものです。

とりわけ総社員数が50名くらいまでは

和気藹々とした雰囲気があり楽しく仕事ことができました。

### 社員旅行



1989年 グアム



1990年 ハワイ



5周年記念 祝賀会



1991年 ニュージーランド



1992年 5周年記念 旅行

1991年 2月 Up&Comingの創刊

1992年 7月 5周年記念



## OSの推移と利用開発言語の変遷

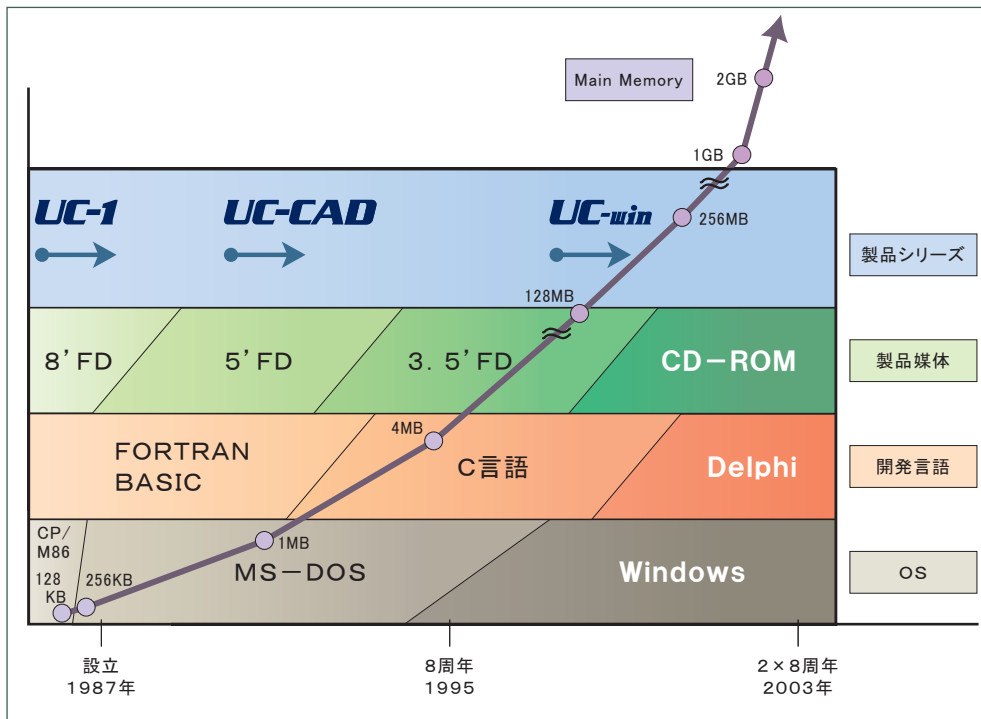
2 × 8th



A Y U M I



64K-biteの主メモリー、片面単密度128K-Biteの  
補助記憶フロッピーディスクを対象に始めたビジネスですが  
いまやギガの単位のメモリーを持つ高速P Cが  
比較的安価で入手できる時代となりました。  
それに伴い当社の開発ソフトも高機能化、巨大化してきました。



OSの推移、開発利用言語の推移、主記憶メモリーの大きさ、製品提供媒体の変化





2 × 8th



A Y U M I



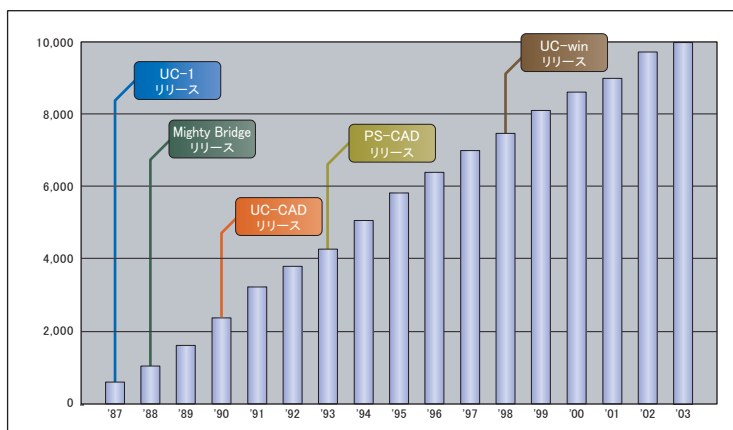
## 製品開発の変遷とユーザ数の推移

土木のフィールドとパッケージソフトの自社開発にこだわっての

2 × 8年でした。

とりわけバブル経済の頃には受託ソフト開発の誘惑が沢山ありましたが

浮利を追わずパッケージソフトに徹したのが良かったと思います。



提供製品の流れとユーザー数の推移



## 8周年記念事業

2 × 8th

歩

A Y U M I

み

当社の社名に因んで8周年記念パーティーを

開業間もない宮崎シーガイアのコンベンションホールで

お世話になった方々やユーザー様をお招きし、盛大に行いました。



## NZ子会社の設立

順調にきた事業も8周年記念事業をおえ、その先を展望したとき

不安定な基礎の上に立っているような気がするとともに

日本でのさらなる拠点作りには興味がもてないでいました。

丁度、その時期に衛星放送でAmerica's Cup'95が放送されており

連日これを見ていてNZの圧勝する様に強く印象づけられました。



クライストチャーチ町並み



NZスタッフ

何故NZか？

America's Cup

日経ビジネス『小さな国の大きな改革』

Internetの普及率世界で2位

1995年6月

America's Cup NZの圧勝

1995年8月

NZ移住に関する(和田)家族の同意、  
移住手続きの開始

1995年12月

家族と現地下見と住居の取得手配

1996年1月

家族と移住

1996年3月

子会社設立。  
役務の提供契約等の基本方針の決定

1996年6月

最初のスタッフとの契約

### NZ開発参加の製品



win/RC (1998年 1月 初版リリース)

win/T&Wu (1998年 11月 初版リリース)

win/WCOMD (1999年 9月 初版リリース)

win/COM3(fiber) (2000年 12月 初版リリース)

win/Road (2000年 5月 初版リリース)

win/PC (2001年 11月 初版リリース)

win/FRAME3D (2002年 11月 初版リリース)

win/Section (2003年 6月 初版リリース)





## 非線形解析への取り組み

2 × 8th

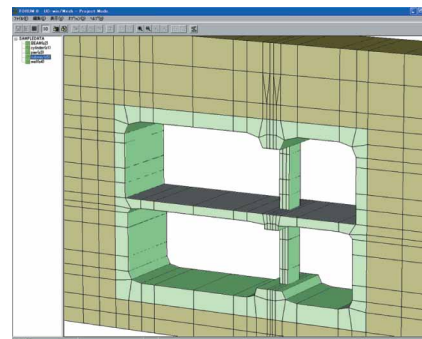
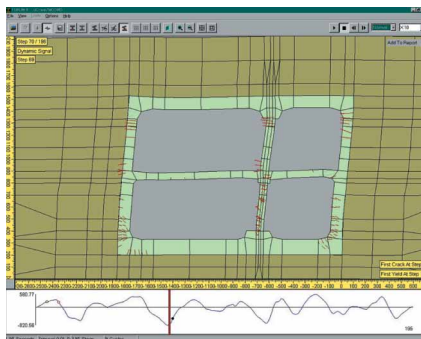
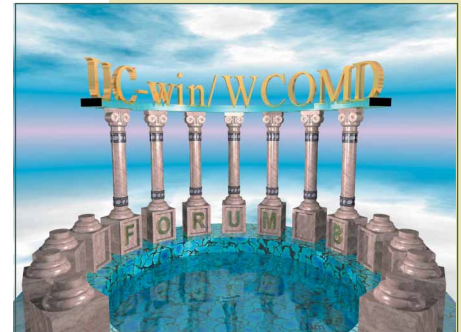
歩

A Y U M I

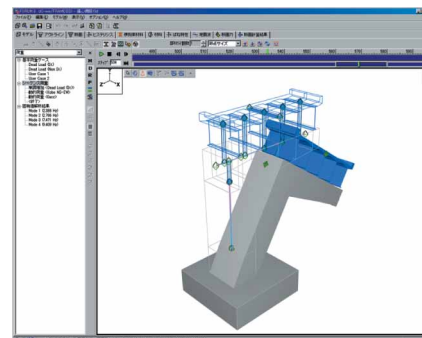
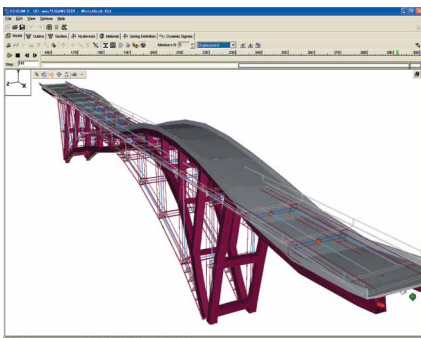
み

独立以前にコンクリート研究会を通じて東京大学コンクリート研究室と接点ができました。WCOMRのインターフェース作成からスタートしWCOMD、COM3 (fiber) といった材料非線形と動的解析の製品をリリースしてきました。また、1998年、後藤先生を技術顧問に迎え幾何学的非線形解析にも取り組んでいます。

WCOMR	(1990年 5月 初版リリース)
win/WCOMD	(1999年 9月 初版リリース)
win/COM3 (fiber)	(2000年12月 初版リリース)
win/FRAME (3D)	(2002年11月 初版リリース)



UC-win/WCOMD ひび割れ発生後の挙動の動的解析



UC-win/FRAME(3D) 幾何学的、材料非線形、動的解析



2 × 8th



A Y U M I



ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー受賞式



## VRへの取り組み

クライストチャーチはガーデンシティと呼ばれる美しい街です。

そこに住んで見ると、日本では個々の事業に過大な費用をかけながら

美しい街を作れないのは何故か、事業が途中で頓挫したり

紛糾したりするのは何故かという疑問が強くなりました。

パッケージソフトとして構造解析の開発と販売を中心としてきましたが

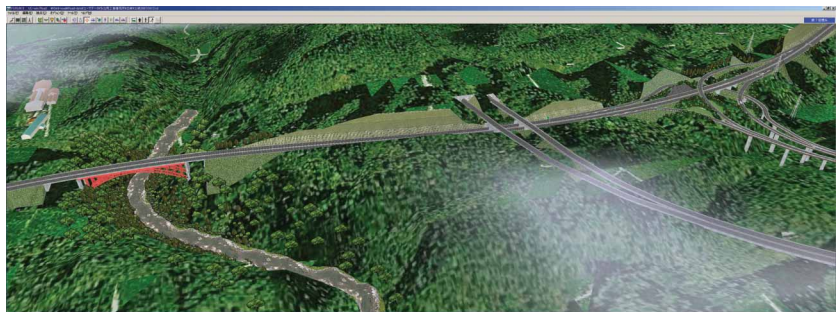
広義の設計にはその周辺をも含め色々な視点からデザインを確認、協議できる

VRのソフトの提供が必要との結論を得ました。

win/Roadという製品になって実を結び現在も成長を続けています。

1999年 2月	着想
1999年 4月	開発着手
2000年 5月	初版リリース
2001年	2版、3版、4版
2002年 9月	ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2002受賞
2002年11月	受賞記念第1回VRコンテスト

## GRAND PRIX 東海環状自動車道



## FORUM8 Exhibition '99

2 × 8th



A Y U M I



建設業の先行きが不安視されるなかどのような将来ビジョンをもって  
当社がやっていくかを東京、大阪、名古屋の各会場でアナウンスすると同時に  
外部の講師の方にタイムリーなテーマでの講演をお願いしました。  
ここでアナウンスした内容はすでに第1段階としては  
ほぼ満足するレベルで達成しました。  
今後はwin/FRAMEの強化、win/Roadの強化、UC-1製品群の改良、  
Web技術の外販を4つの柱として事業を進めていきます。

### 日 程

11月18日(木)、19日(金) 東 京 東京国際フォーラム Dブロック5F D501

11月25日(木)、26日(金) 大 阪 帝国ホテル大阪 22F ペガサス

12月 2日(木)、3日(金) 名古屋 名古屋国際会議場 1号館会議室131・132号室

### 講演概要

#### ◆「統合環境としてのフォーラムエイト製品」

動的解析ソフト、UC-win/Road、UC-1、情報の電子化

(株)フォーラムエイト 代表取締役社長 和田 忠治

#### ◆「損傷形態に直結したRC要素モデルと包括的な耐震性能評価」

東京大学 教授 前川 宏一 様

高知工科大学 社会システム工学科 教授 島 弘 様

#### ◆「PFI：その視点と課題」

(株)熊谷組 エンジニアリング本部長 有岡 正樹 様



東京会場



大阪会場

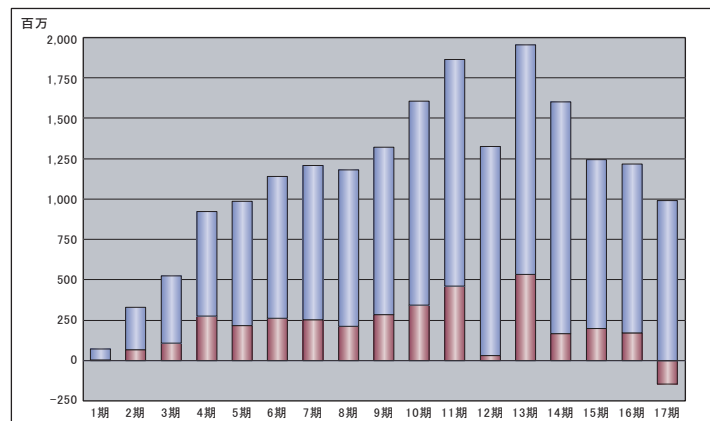




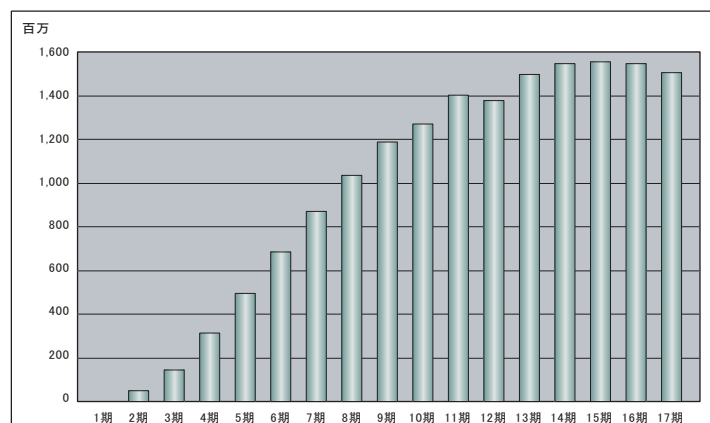
## 売上げおよび経常利益の推移

売上げは時宜を得た製品の投入、道路橋示方書等基準類の改訂による改訂製品へのVersion up収入、MS-DOSからWindowsへの移行、単位系の変更などによる改訂製品収入などによって支えられてきましたが、できるだけ廉価での提供を心がけてきました。

顧客満足を達成し続けるためには企業は収益を上げ続けることが前提です。幸いにも『租税臨時特別措置法』の『プログラム開発準備金』の制度を有効に利用することで企業体力、耐力を強化することができました。



売上げの推移、経常利益の推移



開発準備金の推移(累計)

## 社内システムの整備

2 × 8th



A Y U M I



当社は、開発、営業が二本の柱です。人事部長や経理部長は置かず、  
管理的コストの最小化に務めてきました。  
その一方で、社内システムの整備は時代に先駆けて推進してきました。  
製品の競争力だけでなく、資金調達コストがかかっていないこと  
および管理コストが小さいことが当社の高い収益性をささえてきました。

### 社員へのメッセージ

- 『平』 『節』
- × 『卑』 『狎』

### 年功序列から成績重視へ、定昇の廃止と退職金規定改定

1993年 4月 年功序列から成績重視へ

1996年10月 定昇の廃止／退職金規定改定

### 情報の電子化とISOの取得

1987年 5月 事務処理システム(if800) 運用

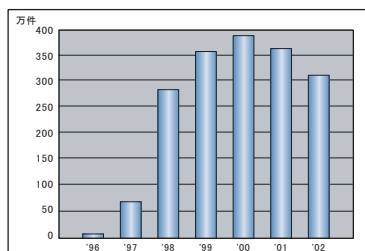
1998年 5月 事務処理システム Windows版 運用開始

1996年 5月 Home Pageの開設

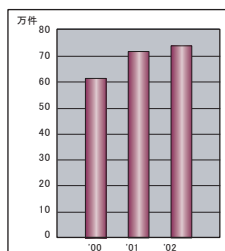
1999年 2月 社内イントラネット開設（社内情報の公開性、透明性）

2000年 7月 FOURM8 Group Web運用開始

2002年12月 ISO9001：2000 取得



Home Page Hit数の推移



Intra Net Hit数の推移



2 × 8th



A Y U M I



## 新体制へ向けて

創業から16年が経過し、経営陣の若返りがそろそろ必要な時期となりました。

新体制への移行を内外に公表し準備を進めてきました。



GTタワー（東京本社）



本社エントランス



本社 Opening パーティ

2002年 4月 東京本社の移転

2003年 6月 役員退職金慰労金規定の廃止

2003年 7月 開発Groupの再構成

2003年12月 営業部門の再構成

### 社員株主の増加と株主構成

2001年5月

和 田	51%
他取締役	44%
社 員	0%
そ の 他	5%
株主数 6名	

2003年9月

和 田	18%
他取締役	21%
社 員	52%
そ の 他	9%
株主数 22名	

### 役員構成の変遷

1987年 5月 和田 忠治、馬場先 勝弘、篠崎 勝之

1989年11月 和田 忠治、馬場先 勝弘、石河 和喜

1992年11月 和田 忠治、馬場先 勝弘、石河 和喜、田中 達朗、伊藤 裕二

2001年11月 和田 忠治、伊藤 裕二、Brent Fleming

2003年11月



代表取締役社長  
伊藤 裕二



開発担当取締役  
Brent Fleming



営業担当取締役  
武井 千雅子

監査役（会長）

和田 忠治



## 2 × 8 周年事業

2 × 8th



A Y U M I



めでたく2回目の8周年記念を迎えることができました。

創業より16期連続の黒字をつづけてこられたのも皆様のご支援のおかげです。

若返った経営陣、潤沢な開発準備金をもとに次なる8周年へ向けて

社員一同ベストを尽くします。

今後ともよろしく申し上げます。

2003年 11月1日（土）

会場 宮崎コンベンションホール

第1部 VRコンテストファイナル

第2部 FORUM8 2×8 祝賀会



宮崎シーガイア

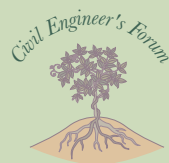


宮崎コンベンションホール



青島ゴルフ場





**FORUM 8**

2 × 8 周年への歩み